



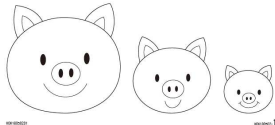

2歳児クラス 5月 第2回 「ぶたさんいっかのやまのぼり」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 前半ひたすら頂上を目指して行くぶたさん一家の気持ちが伝わるように軽快なリズムで読み進める 後半リズムをがらりと変えて、景色を楽しみながらゆっくりのんびり降りてくる様子を伝える。 読み終わった後「リュックサックの中に何が入ってた?」「途中の景色には何があった?」など質問し内容を確認してみる。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> 保:「ほいさかさっさ こんにちはー」とぶたさん一家のペープサートを持って登場「これから山登りにいくなだ」と明快な声質とリズムカルな口調で講師と会話。 会話の中で「ブタさん一家」に興味を持たせ。山登りへの期待感を持たせてからスタートする。 	★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (ブタ父・母・子)	
導入		保育士の役割	「ぶたさん一家」のペープサートを持って登場。講師と会話 

がくしゅうタイム

活動①	比較	大中小大きさの違いを理解してカードを選び貼ることができる	
設問	ぶたさん一家、それぞれに合う帽子をかぶせてあげましょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「あわてて登ったぶたさん一家、帰る時はゆっくりのんびり、いろんなもの発見できて良かったね。あれあれ…誰か来たよ」 保:「ほいさかさっさ…すみません」とプリント提示。 講:「あらぶたさん、どうしました?」 保:「すみません。このへんに帽子みませんでしたか?」とプリントを講師に渡す。 講:「帽子ね…あ!これかな」と大中小の帽子カード提示。 数子ヤレ! 講:「ぶたさん何匹いるか数えてみよう。一本指びっ! 1・2・3 (指さし確認)…全部で3匹。帽子の数は…」とプリントのぶたの数と帽子の数を確認。「3こ」で一致していることを確かめる見本行動。 講: 大きさの比較の見本行動。大の帽子を小のぶたにかぶせ「見えない見えない! 大きすぎるね」など間違え行動をオーバーアクションで強調。楽しく理解させていく。「大きい・小さい…これは?」と問いかけ「中くらい」の比較のことばを伝える。両面テープをはがし「ぴったんこ」と貼る。「まだこんなに帽子探しているブタさん一家がいるよ」「みんなもぴったんこ見つけてかぶせてあげる? やりたい人」と意欲的に活動に参加させる。 保: プリント、カードを配布。 子:「帽子とぶたさん。数はピツタンコかな?」数にヤレゾ。大中小「くらべっこ」を充分楽しんでから、ぴったりの帽子をかぶせていく。(シールごみは皿に入れる) 全員貼れたところで見せ合いっこ。賞賛。 講:「ぶたさん一家また山登り行くんだって。あわてないでね。いってらっしゃーい」とプリント回収。 	教材 P 1 P 1 用大中小帽子カード 皿 (テーブルごみ用) 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> ぶたさん一家でプリント提示 プリント、帽子カード配布 ごみ用皿配備 大中小比較の理解度確認。フォロー。 プリント回収 	
活動②	比較	大中小大きさの違いを理解してシールを選び貼ることができる	
設問	大きさの違う「3こ」のおにぎりに合う梅干を選んで貼りましょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保:「ぶたさん一家がお礼におにぎり弁当作ってくれました」とプリント提示。 講:「ありがとう! 美味しそう」とプリント受け取る。<活動①>同様大きさのくらべっこ。「大きい・小さい…これは?」と問いかけ「中くらい」の比較のことばを引出し、確認。「みんなの分もありますか?」 保:「みんなの分もありますよ」とプリント配布。 	教材 P 2 P 2 用大中小シール 保育士の役割	

<ul style="list-style-type: none"> 講：「でもさみしいね、何も入ってないね…何かいいものないかな？」 保：「これはいかが？」と3種のシールを指につけて提示。 講：「ありがとう。大好きなうめぼし」 ※「味見」と称しスツパイ顔で興味を誘う。 数子ヤレ・講：「おにぎり何個あるか数えてみよう。一本指びっ！1・2・3（指さし確認）…全部で3個。梅干の数は…」とプリントのおにぎりの数と梅干の数を確認「3こ」で一致していることを確かめる。 講：「一番大きいおにぎりには一番大きい梅干」「小さい…」「これは？中くらい」と比較行動入れながら順番に貼る見本。貼るときは「真ん中にべったんこ」と位置も意識して貼る。「みんなもうめぼし入れる？欲しい人」 保：シール配布。 子：シールの数を確認してから、大きさの比較。ぴったりのシールを貼っていく。（シールごみは皿に入れる） 貼れたことを確認。賞賛。 講：「みんなで食べようか？いただきます」「一番大きいおにぎりすっぱいねー」「中くらいは？」「小さいおにぎりちよっとすっぱい」など味覚の会話を楽しみ「ごちそうさまでした」でプリント回収。 ※時間によっては「ごましお振ってもっとおいしくしよう」などで、タッピングを入れても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提示 ・シール提示 ・プリント、シール配布。 ・ごみ用皿配備 ・大中小比較の理解度確認。フォロー。 ・プリント回収。 ★クレヨン
--	---

数子ヤレ	おにぎり	数	大きさの違う「ぶた」「おにぎり」を数える	教材
設問	①ぶたさんと帽子の数いくつ？数えてみよう（3匹・3こ） ②おにぎりとうめぼしの数いくつ？数えてみよう（3こ）			
活動内容	※今回は<活動①②>の中で実施。			保育士の役割

